

※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

鹿屋

## フルマラソンを完走 ～34人でリレーつなぐ～



3月8日、野里小学校6年生34人が、フルマラソンと同距離の42.195kmを完走しました。

1周200mの校庭を一人6～7週の計211周をリレーでつなぎ、2時間11分32秒で走りきりました。

このマラソンは、卒業前に思い出を作ろうと児童が計画したもので、この日のために学校で取り組んでいる朝のかけ足運動の時間での坂道ダッシュなどの特訓をしてきました。校庭では他学年の児童や保護者の熱い声援を受けながら、児童たちは、つないだバトンを必死で振りながらトラックを全力疾走し、目標タイムの2時間15分を見事にきりました。

## 車椅子1台を寄贈



3月8日、細山田幼稚園から鹿屋市社会福祉協議会に車椅子が寄贈されました。

これは、園児や保護者、地域住民が空き缶のプルタブをドラム缶1.5本分、アルミ缶約260kgを集めて購入した車椅子1台を寄贈したものです。手渡された山下会長は「高齢者や身体の不自由な皆さんのために、大事に使わせていただきます」と謝辞を述べました。

## 全国優良経営体 表彰を受賞



3月14日、市内で露地野菜経営に取り組んでいる(株)マルキヨ(獅子目町・代表取締役清水章一郎氏)が、全国優良経営体表彰法人経営部門で「全国担い手育成総合支援協議会長賞」を受賞しました。

これは、積極的な経営改善への取組が認められ、県内で唯一の受賞。清水さんは「これを機に鹿屋の農業発展のため、さらに頑張りたい」と抱負を話してくれました。

鹿屋

## 「第3代ローズクィーンかのや」が決定



3月24日、鹿屋商工会議所で「ローズクィーンかのや選考会」が開催されました。

「ローズクィーンかのや」に選ばれたのは、川崎 亜希さん(寿5丁目)、高橋 友香さん(寿4丁目)、岩元 宝さん(寿7丁目)の3人で、任期は平成25年3月までの2年間。今後、3人はかのやばら園をはじめ、かのや市の魅力を広くPRしていきます。



岩元 宝さん

川崎 亜希さん  
(代表クィーン)

高橋 友香さん

輝北

## 約40年の歴史に幕



3月23日、輝北町の高尾児童館で平南及び高尾児童館の閉館式が行われました。平南児童館は昭和43年、高尾児童館は昭和44年から供用を開始。児童の遊び場の提供、健康増進などを目的としてきましたが、今年3月で閉館することになり、閉館式に参加した歴代の児童厚生員や卒園児、地域住民等約50人は、長年続いた児童館との別れを惜しみました。

申良

## 防火への意識高める



3月4日、申良平和アリーナで「第23回消防のひろば」が開催されました。

これは、東部消防署管内の幼年消防クラブが一同に集い、防火意識の高揚を図るために開催されたもので、洗心保育園とふたば保育園の幼年消防クラブ約80人が参加。当日は、園児たちが規律訓練を披露するなどして、防火に対する思いを再確認していました。

## 子ども会単位で 交流を図る



3月12日、申良公民館で「申良地域子ども会大会」が開催されました。

これは、学校の垣根を越えて、交流を行おうと毎年行われているもので、今年は「東共心子ども会」と「申良校区子ども会」の年間活動報告が行われたほか、なんこ遊びやカローリング(室内カーリング)などのレクレーションも行われ、楽しい時間を過ごしました。

## 石牟礼神社春の例祭



3月6日、輝北町平房の石牟礼神社で春の例祭が開催され、上平房・中平房・下平房の各保存会による棒踊りが奉納されました。

これは、五穀豊穡を祈願しようと毎年行われているもの。当日は、各保存会の白いはちまきや色鮮やかなたすきを身につけた踊り子が、特徴のある踊りを披露し、威勢のよい掛け声とともに、棒を打ち鳴らしていました。

申良

## 春を告げる 伝統の柴の掛け替え



3月24日、申良町細山田の川原園井堰で、春を告げる風物詩である「柴の掛け替え」が行われました。

これは、水稻づくりにはかかせない作業で、明治期から伝わるとされる伝統行事。当日は、関係者約20人が長さ約45mの川幅に、柴の束を約150束立て掛けて、柴堰を完成させ、早期水稻の準備を行いました。

## 星塚敬愛園と 地域との架け橋に



3月12日と19日、星塚敬愛園で「第1回星塚敬愛園ボランティア養成講座」が開催されました。

この講座は、敬愛園と地域の架け橋となる人材の育成を目的に開催されたもので、29人が参加。当日は、敬愛園の歴史や施設の概要などを学び、最後に、認定証を受け取りました。主な活動として園内ガイドや入所者との交流などの活動を行っています。